

一発合格道場は、私たちの代で道場開きから14年になります。勉強方法や中小企業診断士関連の情報をほぼ毎日、ブログで発信しています。また、先代からのノウハウを引き継ぎ、ブログ以外にも多面的に受験生を支援する活動をしています。

本稿では、今までに培ってきた道場流の合格ノウハウを生かして、事例Iの直前対策をお伝えします。設問解釈、与件読解、解答作成の3つに分け、それぞれのプロセスで必要となるチェックポイントと対策をお話しします。

## 1 設問解釈

設問解釈とは、設問文を読み、何が問われているかを認識し、解答の方向性について仮説を立てることです。この設問解釈は、設問文を読解する作業と、解答の型を作成する作業で構成されます。

設問文を読解する作業では、設問文から答えるべき内容を推察し、どのような要素が必要か（設問要求）を考えます。そして、解答の型を作成する作業では、設問に直接、答えられるような文章の型を準備します。

### (1) 設問解釈で意識すべきこと

設問解釈で重要なのは、出題者の意図を汲み取

り、出題の趣旨を理解することです。

しかし、単に設問を読んだだけでは、出題の趣旨を理解するのは困難です。以下、事例Iに特化した設問解釈のチェックポイントと対策をご紹介します（図表1）。

**図表1 設問解釈のポイント**

① 設問の種類	情報整理	環境分析を行い、情報を整理する問題 例) 強みと弱みについて答えよ。 ○○と●●の違いについて答えよ。
	期待効果	意思決定・施策に対する影響や効果を問う問題 例) どのような目的があったか？ ○○した理由について答えよ。
	助言	問題点や課題に対する解決策を問う問題 例) ○○について助言せよ。
② レイヤー	経営戦略	【各レイヤーで押さえるべき要素】 ～幸の日も毛深い猫～ ケ：権限委譲、ブ：部門設置 カイ：階層化 ネ：ネットワーク コ：コミュニケーション サ：採用・配置、チ：賃金 ノ：能力開発、ヒ：評価 モ：モチベーション
	組織・人事	組織構造 組織活性化 人的資源管理
③ 制約条件	観点	○○の観点で、○○について
	時制	○○以前の、○○年における
	数	○○を3つ述べよ。
	除外	○○以外で、○○とは異なる点で
	切り口	強みと弱みを述べよ。

筆者作成

以下の①～③までのポイントを意識して設問解釈を行うことで、出題の趣旨を正確に捉えることができます。

### ① 設問の種類

設問の種類は、情報整理、期待効果、助言の3つに分類できます。なお、「助言」の問題については、得られる「効果」を盛り込むことに留意します。

### ② 設問のレイヤー

レイヤーとは、企業経営における階層（図表1の②参照）のことです。どの階層が問われているかを把握することで、出題の趣旨を捉えることができ、解答全体に一貫性が生まれます。

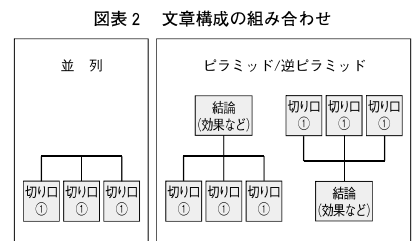
### ③ 制約条件

設問文には、解答の方向性を発散させないよう制約条件が記載されています。設問文を読む際には、5つの制約条件のパターン（図表1の③）に注意して読み、制約条件に沿った解答を考えるようにします。

## (2) 解答の型作成で意識すべきこと

### ① 文章構成と解答の型の例

解答の型は、問われている内容によって文章構成のパターンを使い分ける必要があります。文章構成は、図表2に示すような例があります。



筆者作成

図表3のように、パターンごとの型を身につけておき、型が適用できる設問には、反射的に効率よく解けるようにしましょう。

図表3 解答の型の種類と例

	解答の型の例	文章構成
理由	理由は、① (30字)、② (30字)、③ (30字) のため。	並列
最大の理由	最大の理由は、(結論: 30字) のため。具体的には、(30字) (30字)。	ピラミッド
施策	施策は、① (30字)、② (30字)、③ (30字) を行い、(効果) を図る。	逆ピラミッド
問題点	問題点は、① (30字)、② (30字)。	並列
改善策	改善策は、① (30字)、② (30字) により、(効果) を図る。	逆ピラミッド

筆者作成

### ② 多面的な要素

中小企業診断士には多面的な診断が求められるため、複数の視点で解答することが大切です。解答要素が多面的な切り口となるよう、与件文から抽出し、解答の型に要素を当てはめていきます。

## (3) 設問解釈の精度を高める対策

### ① 設問に対する読解力を高める方法

2次試験では模範解答は公開されませんが、出題趣旨は公開されます。設問解釈の精度を高める練習の1つとして、過去問の設問文を読み、自身で設問解釈を行い、出題の趣旨と比較しましょう。

### ② 解答の型の作成力を高める方法

設問文を読んで、解答の型を反射的に作成できるようにトレーニングします。これは、設問解釈トレーニングと合わせて行うと効果的です。設問要求に合った型となっているか、意識しましょう。

## 2 与件読解

ここでは、事例Iに特化した与件読解のチェックポイントと対策をお伝えします。

### (1) 与件文を読み解く留意点

設問に的確に解答するには、まずは与件文を通